

カーボンニュートラルの  
早期実現を目指して

# CO<sub>2</sub>分離回収・資源化 コンソーシアム

## ● 会長あいさつ

日本では2050年のカーボンニュートラル実現を目指して、「2050年カーボンニュートラルに伴うグリーン成長戦略」のもと温暖化への対応を日本の成長の機会と捉え、研究開発や制度設計が進められています。

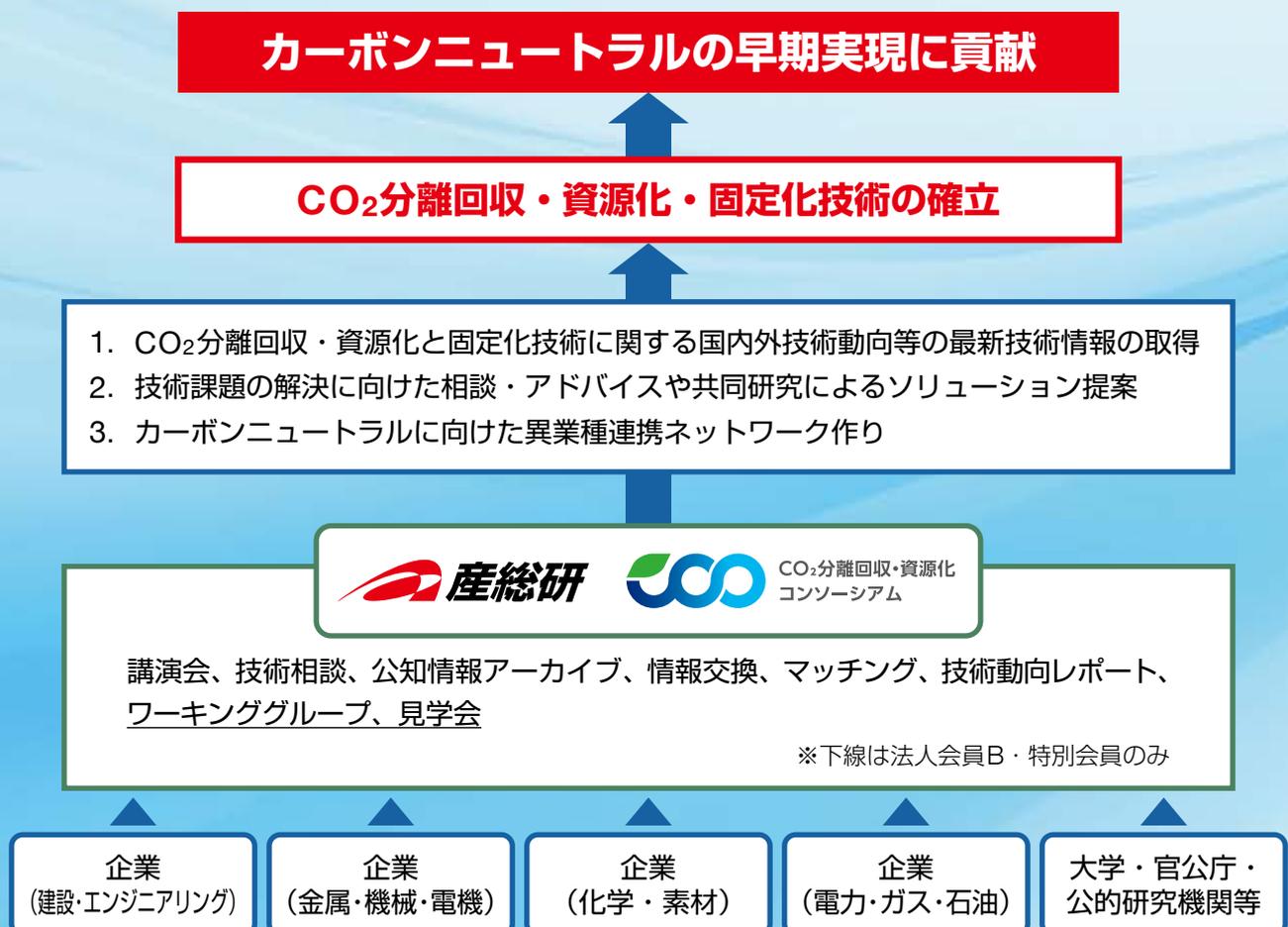
カーボンニュートラルの実現は新たなビジネスを生み出すチャンスです。しかしながら、化学・素材産業において個別企業の取組だけではその実現は困難です。加えてCO<sub>2</sub>の分離回収と資源化・固定化(CCUS)技術を実現するには、排ガスなどからCO<sub>2</sub>を分離回収する技術、分離回収されたCO<sub>2</sub>を化学品・燃料などに変換する資源化技術や地下貯留・鉱物化などの固定化技術を組み合わせることが必要です。

このような背景のもと、個別企業が持つ技術の進化と新たなサプライチェーンの実現や企業間連携を生み出す機会を提供するため、産総研材料・化学領域は2021年9月に「CO<sub>2</sub>分離回収・資源化コンソーシアム」を設立いたしました。

当コンソーシアムは、情報交換と企業間連携を生み出す場となり、企業・大学・公的研究機関など会員の英知を結集することにより、カーボンニュートラルの早期実現に貢献します。皆様のご協力のほど、よろしくお願いいたします。

CO<sub>2</sub>分離回収・資源化コンソーシアム  
会長 濱川 聡

## ● 概要



## ● 活動内容

共通理解の深化	CO <sub>2</sub> 分離回収・資源化および固定化技術に関する講演会の開催 CO <sub>2</sub> 分離回収・資源化および固定化技術に関する情報収集と提供
対話と共創の促進	会員間の情報交換とマッチングの場の提供 共同研究立案・研究プロジェクト提案に向けたワーキンググループの開催
技術普及の推進	CO <sub>2</sub> 分離回収・資源化および固定化技術に関する技術相談 材料評価設備などの見学会の開催

### ◆ 講演会

当コンソーシアムの会員のみが参加可能な、CO<sub>2</sub>分離回収・資源化および固定化技術に関する講演会を年3回開催しています。



講演会の様子

### ◆ 見学会・勉強会

法人会員Bの興味や関心に沿った内容で、見学会・勉強会を企画・開催しています。



産総研・福島再生可能エネルギー研究所見学会

### ◆ ワーキンググループ

法人会員Bの関心や要望を基に検討課題を設定したワーキンググループを組織し、ワーキンググループ参加者が課題解決のために深い議論を行っています。

### ◆ 情報収集と会員への提供

コンソーシアムのWebページで、講演会資料・技術情報・調査報告書など会員のみ閲覧可能な資料を掲載しています。

CO<sub>2</sub>分離回収・資源化コンソーシアム  
Webページ



## ● 会員種別と年会費ごとに受けられるサービス

	会員資格	会費	講演会への参加	技術相談・情報収集と提供	ワーキンググループ・見学会への参加	総会への参加
法人会員A	本コンソーシアムの目的に賛同する法人又は団体	5万円/年	○	○	-	○ (議決権なし)
法人会員B		30万円/年	○	○	○	○ (議決権あり)
特別会員	大学及び公的研究機関の研究者、並びに、会長が特に認める者	無料	○	○	○	○ (議決権なし)

入会お申込みは、ホームページ「入会案内」より入会申込書をダウンロードしてご記入いただき、事務局までメールにてお送りください。

<https://unit.aist.go.jp/dmcl/consortium/co2c/index.html>

CO<sub>2</sub>分離回収・資源化コンソーシアム 事務局  
E-mail : M-CO2-consortium-ml@aist.go.jp

 産総研 | 国立研究開発法人  
産業技術総合研究所

CO<sub>2</sub>分離回収・資源化コンソーシアム

〒305-8565 茨城県つくば市東1-1-1 中央事業所5群

国立研究開発法人 産業技術総合研究所

CO<sub>2</sub>分離回収・資源化コンソーシアム 事務局

E-mail : M-CO2-consortium-ml@aist.go.jp

<https://unit.aist.go.jp/dmcl/consortium/co2c/index.html>

